

第11回 共同墓「空去来・舎羅林堂」 合同供養&講演会

2015年**3月21日**

土曜・祝日(春分の日・彼岸の中日)

- ◆共同墓 合同供養…15:00～15:30 (舎羅林堂にて)
- ◆太極拳奉納…………… 15:45～16:00 (本堂にて)
- ◆講演会…………… 16:00～17:30 (本堂にて)
- ◆交流会…………… 17:45～19:30 (小堂にて)



講演会：高齢者住宅の種類とサービスについて

参加自由

併催 第23回 二十五三昧会



講師/米沢なな子氏

■講師略歴

一般社団法人コミュニケーションネットワーク協会常務理事/高齢者住宅情報センター大阪センター長
その他、高齢者住宅に関するセミナー講師やメディア出演、書籍の原稿執筆など数多。

2010年に米沢さんに高齢者の住まいのことでお話しいただいた時、ちょうど私の実家の母が高齢者専用賃貸マンション(以下、「高専賃」)に入居した直後でした。その頃、既に費用負担の少ない特別養護老人ホーム(「特養」)にはなかなか入りにくいという状況がありました。そんな中で、頭金なしで入れる「高専賃」は魅力的でした。(しかし、その後、認知症が進み「高専賃」から、「有料老人ホーム」へ住み替えた。)翌年、お寺の義母の介護に疲れ果てた私たち夫婦を見た主治医が「介護老人保健施設(老健)」への入所を勧めてくれました。4年にわたる介護から解放され、生活リズムを取り戻すことができました。その後、病院への入院を経て「有料老人ホーム」に入ってもらいました。その年、法律が変わり「高専賃」に代わってサービス付き高齢者向け住宅(「サ高住」)が登場。空気がない「特養」は待てないと、選択される方が増えています。しかし、介護費用が別にかかる点など知っておかなければなりません。

子ども達と同居していても、お寺の例のように、施設への入居を考えなければならない場合もあります。また、独居の場合は、介護度が進むと在宅での一人暮らしはかなり難しくなってきます。施設に入るにはお金も必要となってきます。介護が必要になってから入る場所を探すとなると、自分では無理です。元気うちに動き出しましょう。「高齢者住宅の現状は必ずしも明るいものではありませんが、新しい高齢者住宅の実例も交えながらお話をさせていただきます。」と米沢さんからのコメントです。(住職:記)

二十五三昧会の生みの親—神代尚芳医師3回忌のお知らせ

2015年**5月17日(日)** 14:00～16:00 岡本寺本堂

第一部：読経、神代医師講演ビデオ上映を予定しております。

第二部：神代先生を語る—お話ししていただける方を募集しています。

神代先生の実践を未来に生かすためのご法事です。手ぶらでご参加ください。

「自分らしく死にたい」

神代尚芳 著
創元社 発行

人生の完成を援助する
医師の記録



*できる限り、お車でのご来山はご遠慮ください。(彼岸の中日でするので大変な混雑が予想されます)

講演会へは檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、お気軽にご参加ください。

主催：観瀧山 岡本寺 TEL.072-793-0203